

「アオキグループ安全大会」が開催されました

7 月 29 日（火）、アオキ本社会議室において、「アオキグループ安全協力会 令和 7 年度 安全大会」が開催されました。協力業者様は 45 名参加され、アオキ社員の参加人数を合わせ、70 名程が会場の席を埋めました。

開会の辞の後、協力会の会長である増渕硝子工業の増渕努様より、アオキ 130 周年への祝辞と代表ご挨拶をいただきました。



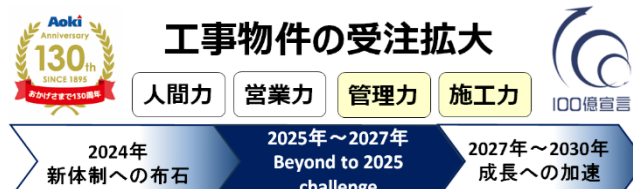
その後、アオキ 130 年の歴史を振り返る動画を視聴した後、青木社長より挨拶がありました。

青木社長は「我々の市場である建設業界では、木造住宅の需要低迷が続き、これから先も明るい見通しがあるとは言えません。一方で非木造の着工は堅調に推移してはいますが、木造住宅市場をカバーするするには至りません。従って、“待ちの姿勢”でいたのでは、アオキも皆様協力業者様も取り残されてしまうのは明らかだと思います。



幸いにして皆様方のご協力もあって、アオキにおける工事部門の業績は成長しており、売上構成比も年々向上しております。これからもアオキが成長し続けるには、工事業業をますます拡大していかなければならないと思っております。それには、皆様方協力業者様のご支援・ご協力が欠かせません。

今後とも“ゼロ災でいこう ヨシ！”を合い言葉に安全第一に励んで、共に成長できるよう前進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします」と述べました。



続いて、今後の受注物件についての説明と会計報告が行われました。

その後、熱中症対策に関する動画を視聴し、記念品としてお配りした熱中症対策グッズの説明が行われました。（下図）



業務センターからは、請求書・CCUS・保険加入・産廃処理に関する連絡・お願いを行いました。

今回の特別講演は、アイキャリア(株)代表取締役の太田章代様より「現場のための安全コミュニケーション」というテーマでお話しいただきました。



「眠らせない安全大会」をコンセプトに、全員参加型の形式をとり、青木社長もコミュニケーションゲームに参加。社員2名とチームを組み、お互いの自己紹介をしたり、否定的な言葉を言われた場合・肯定的な言葉を言われた場合のシミュレーションをしたり、伝達力チェック（口頭の説明の

みで正しい図を描かせることができるか）や注意力チェック（動画の中で何が変化していくか）をしたりしました。

そして、太田講師に花束贈呈が行われ、閉会しました。



運営者の1人は、全体を総括して「全員参加型の講演会は楽しく、盛り上がりのあるイベントになりました。貴人的には、社長と何度もハイタッチさせて頂きましたが、それも貴重な体験でしたね」と、今回の安全大会が楽しみながら役に立つ内容であり、協力業者様との連帯感を深めたものであったことを述べました。